

これから世界に羽ばたく研究者の方々に贈る必読の書

# 科学と倫理

## AI時代に問われる探求と責任

金子務 酒井邦嘉 [監修] 日本科学協会 [編]

### 第I部 社会に開かれた研究倫理

- 第1章 3.11 以後の科学と倫理  
野家啓一(東北大学名誉教授)
- 第2章 ロボット三原則と科学者三原則  
酒井邦嘉(東京大学大学院総合文化研究科教授)
- 第3章 科学者の社会的責任—専門知の失敗と責任システム  
廣野喜幸(東京大学大学院情報学環/総合文化研究科教授)

### 第II部 これからの生命・AI・宇宙時代に問われるもの

- 第4章 合成生物学の倫理とデュアルユース性  
須田桃子(NewsPicks 副編集長)
- 第5章 感染症の科学と倫理  
小川眞里子(三重大学名誉教授)
- 第6章 遺伝病医療の倫理  
鈴木邦彦(米国ノースカロライナ大学名誉教授)
- 第7章 AI時代の科学技術倫理  
前野隆司(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)
- 第8章「本人らしさ」の探求と演出  
—人工知能技術による「よみがえり」をめぐる論点  
江間有沙(東京大学未来ビジョン研究センター特任講師)
- 第9章 人類の生存と宇宙進出の問題  
神崎宣次(南山大学国際教養学部教授)

### 第III部 文化思想としての科学倫理思想

- 第10章 科学の創造性と倫理—ベロニカの科学的行方  
村田純一(東京大学名誉教授)
- 第11章 原子爆弾と「聖断」  
岡本拓司(東京大学大学院総合文化研究科教授)
- 第12章 宗教由来の倫理は科学の倫理に活用できるか?—嘘(捏造)をめぐる考察  
正木晃(宗教学者)
- 第13章 エコロジー思想の起源とその両義性  
安藤礼二(多摩美術大学美術学部教授)



**中央公論新社**

A5判 312ページ 定価(本体2,300円+税)

日本科学協会 科学隣接領域研究会が提案する、科学を支えるための倫理とは？

先の見えない問題に、今どのように向き合えばよいのか。「科学と倫理」をテーマに13の視座が広がります。

# 2021年2月9日(火) 発売

※ご購入は  
こちらから



【お問合わせ先】公益財団法人 日本科学協会 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F TEL: 03-6229-5360 FAX: 03-6229-5369